



今日は表土層下の土層の堆積や住居跡などの遺構有無を先ず確認するため、調査区にサブトレンチと呼ばれる幅の狭い溝を設け、掘り下げます。



調査区北端ではB貝塚の端部が見つかっています。
サブトレンチ内の貝層からは縄文時代中期の土器が出土しています。



調査区中ほどの位置のサブトレンチから、住居跡の床のような土層面が出てきました。
早くも今回の調査の目的である縄文時代の住居跡の検出か！と、にわかに現場が活気づきましたが、その性格・時期はまだ分かりません。
明日以降の調査に期待！